

防災まちづくり『子ども街なみ探索隊』について

平成 19 年 7 月 9 日

関係 各位

蓮花寺子ども会

春日自主防災グループ Q 2

日頃より町や地区の自主防災活動にご尽力賜りありがとうございます。

さて、標題のことにつきまして、下の要領で防災に対する啓発活動を企画しました。

近年、大きな被害をもたらす地震や風水害が多く発生しております。その事により、多くの生命・財産が失われてきました。また、この地域でも近い将来に東海・東南海地震の発生が懸念されております。地震は、自然現象ですが、震災は人災とも言われており、震源地や被災地によって大きな差があります。

そのような考え（趣旨）のもと、イベントを実施する事により、

1. 子ども達が地域の現状を認識することで、防災を考える機会になる。
2. 地域の方々が防災について考える機会となることで、減災意識の高まりを期待する。

そして、今後の活動に結びつけたいと存じます。

この企画は、行政主導により各地の小学校区規模で実施されておりますが、蓮花寺地区のような小さな地域での実績（見本）が無く、手探りになります。今回、実施するにあたりまして、地域の皆様にご支援を賜りたく存じます。よろしくお願いいたします。

このことに関するお問い合わせは、
春日自主防災グループ Q 2 代表 天野金明
(052-400-9333) まで

【実施要領】

日時： 7 月 1 5 日(日)午前 9 時頃～1 2 時頃

場所： 春日町蓮花寺地区内

企画(案)

- ◎ 子ども会によるかんたん防災（探索マップ）作成
 - 1： 模擬消防自動車による救助路の実態と消火栓等チェック
 - 2： 避難所までの経路の安全確認
 - 3： 避難所食体験
- ◎ 防災カルテ（地域の弱点）とお宝マップ（地域の有用財産）の作成

その他

平成 2 0 年 6 月より住宅用火災報知器の設置が義務付けられるのに伴い、火災報知器の感知実演、設置方法の説明も行う予定です。

【実施内容】

A. 防災に関する資材等の保有状況が、一目でわかるマップを作る。

探索範囲で、4チームに編成する。

1. を各チーム15分程度の活動をし、その間、他のチームは2.の活動をする。

3.の活動は、蓮花寺川西から川東へ移動するとき確認する。

1.
 - ・消防自動車の通行可と不可を道路で明確に区分する。
(消防自動車の大きさの枠を作り、子ども達が通行できるかを試す)
 - ★パイプの口が、危なくないようにする
 - ・消防自動車用の水槽の位置を地図にマーキングをする。
 - ・防災倉庫の位置を地図にマーキングする。
(保管物の内容等を確認する)
2.
 - ・消火器の設置場所を地図にマーキングする。
(2本セットと1本を分けて表示する)
 - ・40m/m 消火栓の場所を地図にマーキングする。
(露出しているか埋め込みかを分けて表示する)
 - ・40m/m ホース関係で放水口、ホースの収納場所をマーキングする。
(目視で、劣化の状況と本数を調べる)
3. 路地に面した家屋や塀の状況を地図にマーキングする。
(避難所までの経路の安全確認)

B. 避難所食としてカレーの炊き出しをします。

1. 簡易の皿にサランラップを敷き、カレーライスを食べます。
2. 食べた後、ラップを捨てることで、皿自体が汚れるのを防ぎ、水の使用量を減らすことを体験します。

C. 子ども達が、今回の減災啓発活動に参加したことの「ふりかえり」をしてまとめます。

1. Aで実施したことを1つの地図にまとめます。
 2. 子ども達に感じたことを聴き取り、地図上にまとめます。
 3. 子ども達に参加賞として、防災グッズを配布します。
 - ・防災カード
 - ・缶バッジ
 - ・なまずキャンディー
- 等

防災まちづくり『子ども街なみ探索隊』について

各位

蓮花寺総代

蓮花寺子ども会

春日自主防災グループQ2

日頃より町や地区の自主防災活動にご尽力賜りありがとうございます。

さて、標題のことにつきまして、下の要領で防災に対する啓発活動を企画しました。

近い将来に東海・東南海地震の発生が懸念されております。地震は、自然現象です。それを起因とする被害・震災は人災とも言われており、地域によって大きな差があります。

この企画は、地域での実績（見本）が無く、手探りになります。今回の実施にあたりまして、地域の皆様にご支援を賜りたく存じます。よろしくお願いします。

【実施要領】

日時： 7月15日(日)午前9時頃～12時頃

場所：春日町蓮花寺地区内（雨天時、規模縮小または中止）



＜企画内容＞

- ◎ 子どもたちによるかんたん防災探索マップの作成
 - １： 模擬消防車による救助路の実態と消火栓等チェック
 - ２： 避難所までの経路の安全確認
- ◎ 避難所食体験
 - ※東公園で、炊き出しを行います。公園の利用にご配慮をお願いします。
- ◎ 防災カルテ（地域の弱点）とお宝マップ（地域の有用財産）の作成

＜お願い＞

当日「7月15日（日）午前10時～12時」、子ども達が、蓮花寺地区内を探索します。
その間、地区内での自動車運転をされる場合、ご留意頂きますようお願いいたします。



とくに、上の地図の実線の道路は、模擬消防車が通ります。

【共催】 蓮花寺地区自治会・コミュニティー、あいち防災リーダー会春日支部

【後援】 春日町役場、春日町ボランティア連絡協議会

この企画は、春日町社会福祉協議会ボランティア支援の補助金対象の事業です。

[illegible]

(花井さんの提言)

1. 災害の種類

1-1 台風、津波等に依る水害

増水による家屋の流失、浸水、土砂流出

1-2 地震、家屋、道路、橋等の崩壊

ライフラインの停止

1-3 火災

家屋の焼失、類焼

※ 災害を最小限にするために防災意識の向上が重要

2. 防災への取り組み

2-1 防災には、知識で知る情報を行動に結びつける道具立てが出来ていないと防災とは言えない。

道具立てとは、個人では家具の転倒防止とか非常持出しの準備が出来ているとか等

※ 「災害に備えよう」のスローガンは、誰でも知っている。持場立場で今一度、役割分担を考える

2-2 行動に結びつく、役立つ防災には、日常個人と組織の融合が出来ている事。

個人から地域、地域から町へと連帯で防災へのしくみが広報とか防災訓練で示されておりますが、地域の持場では、防災に付いての道具立てが、何がどれだけ、どこに、所番地があるか（防災器具）、住民の逃げ道の確保（ハザードマップ）等に付いて、今一度再確認を図り、日ごろから災害に備えようと全員が意思の統一を計り、安全で安心な町づくりを1人1人から地域へと輪を広げて行く手段の一つとして災害ボランティア（チーム名Q2）のメンバーが微力ながら地域の関係メンバーと協業して整備に協力させて頂き防災から減災に結びつく地域の向上に努めてまいります。

(準備・用意する事)

- 本部の設置、マップ作成会場、調理・食事の場所
- 交通規制（蓮花寺橋西とトヨタ中整校寮）、警察官の付き添い等車の通行連絡に無線機が必要か？
- 防災倉庫の点検、消火栓等の点検に消防団員が必要か？

ボランティア 募集

平成 19 年 7 月 1 日

下の内容で、「防災・減災」の啓発活動を蓮花寺の子ども達と行います。

当日、一緒に防災ボランティア活動をお願いしたいです。

可能な方は、当日、集合場所（蓮花寺公会堂・午前9時）にお出で下さい。

このことに関するお問い合わせは、春日自主防災グループQ2 代表 天野金明

（052-400-9333）まで

防災まちづくり『子ども街なみ探索隊』について

日頃より町や地区の自主防災活動にご尽力賜りありがとうございます。

さて、標題のことにつきまして、下の要領で防災に対する啓発活動を企画しました。

近い将来に東海・東南海地震の発生が懸念されております。地震は、自然現象です。それを起因とする被害・震災は人災とも言われており、地域によって大きな差があります。

この企画は、地域での実績（見本）が無く、手探りになります。今回の実施にあたりまして、地域の皆様にご支援を賜りたく存じます。よろしくお願いします。

【実施要領】

日時： 7月15日(日)午前9時頃～12時頃

場所： 春日町蓮花寺地区内

＜企画内容＞

- ◎ 子どもたちによるかんたん防災探索マップの作成
 - 1： 模擬消防自動車による救助路の実態と消火栓等チェック
 - 2： 避難所までの経路の安全確認
- ◎ 避難所食体験
- ◎ 防災カルテ（地域の弱点）とお宝マップ（地域の有用財産）の作成

＜お願い＞

当日「7月15日（日）午前10時～12時」、子ども達が、蓮花寺地区内を探索します。

その間、地区内での自動車運転をされる場合、ご留意頂きますようお願いいたします。



とくに、上の地図の実線の道路は、模擬消防自動車を通ります。

【主催】 蓮花寺子ども会、春日自主防災グループQ2

【共催】 蓮花寺地区自治会・コミュニティー、あいち防災リーダー会春日支部

【後援】 春日町役場、春日町ボランティア連絡協議会

この企画は、春日町社会福祉協議会ボランティア支援の補助金対象の事業です。

